

社会福祉法人栃木県共同募金会

会 長 田 崎 昌 芳 様

法人名 〇〇法人 ●●●●

代表者職氏名 理事長 赤井 羽根男

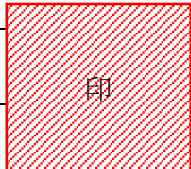
〒 000 - 0000

法人の所在地 栃木県△△市▲▲000-0

TEL 000 - 000 - 0000

FAX 000 - 000 - 0000

担当者名 赤木 羽根美 (連絡先TEL 同上)



共 同 募 金 配 分 申 請 書

平成 31 (2019) 年度共同募金の配分を受け、次の事業を実施したいので、必要書類を添え申請書 (正本 1 部 ・ 副本 2 部) を提出します。

- 配分金申請額 1,770,000 円
(うち経常的経費 220,000 円 、臨時的経費 1,550,000 円)
- 申請事業名 : 相談事業・広報啓発事業
- 法人 (団体) の現況

活 動 の 対 象 者	会 員 数	活動の目的・内容
(記載例 : 高齢者〇〇人) 障がいをもつ当事者 保護者	20 人 30 人	【相談事業】 障がいを持つ子を育てる上での相談会の開催により、親同士のネットワークをつくる 【広報啓発事業】 リーフレット作成を行い障がいに関する正しい知識の理解啓発に努める
認 可 日	法人認可 1947 年 10 月 1 日	事業開始日 1948 年 10 月 1 日

4 「経常的経費」に係る配分申請事業計画

(1) 事業の内容

現状の課題・困りごと	障がい当事者がなかなか外に出向く機会がないことや、その保護者の悩みなどを打ち明ける場がない。また、保護者同士のつながりも希薄。社会的にも障がいの理解度は低く、少なからず生きづらさを抱えている家族が多数いる。		
具体的な申請事業の内容 ※印刷物等を作成する場合には、部数、回数及び配布先なども記入してください。	【相談事業】 半年に1度の会員交流会を開催 【広報啓発事業】 リーフレット作成 10,000部 市役所・町役場やイベント時に配布		
本申請に関して理事会等の審議内容の有無	有		無

(2) 資金計画

(単位：円)

事業名	事業費総額	共同募金配分金	自己資金
相談事業	50,000	40,000	10,000
広報啓発事業	200,000	180,000	20,000
合計	250,000	220,000	30,000

※複数の事業について申請する場合には、「〇〇啓発事業」、「〇〇相談事業」など事業ごとに記載してください。

5 最近5年間に共同募金の配分を受けて実施した事業及び配分金額

申請年度 (配分決定年度)	事業名	共同募金配分金額
令和元年度	研修会事業・広報啓発事業	250,000
平成30年度	研修会事業・広報啓発事業	250,000
平成29年度	研修会事業・広報啓発事業	250,000
平成28年度	研修会事業・広報啓発事業	300,000
平成27年度	研修会事業・広報啓発事業	300,000

※申請した年度の翌年度に配分を受けて事業実施となります。配分金を受けた年度ではなく、申請した年度で記入してください。

8 本申請の前年度に共同募金の配分を受けて実施した「経常的経費」及び「全国単位・関ブロ単位の会議・研修等」事業の収支報告
(平成30年度に共同募金配分決定を受け、令和元年度に実施した事業について)

(単位：円)

◎収入の部

事業名	事業費総額	共同募金配分金	自己資金
(1) 研修会事業	95,100	70,000	25,100
(2) 広報啓発事業	225,000	180,000	45,000
(3)			
計	320,100	250,000	70,100

◎支出の部

事業名	科目及び金額	左の支出内訳
(1) 研修会事業	講師謝金 50,000円 会場使用料 10,000円 印刷製本費 35,100円	1回×1名 1日貸し切り 資料印刷代
	小計 95,100円	
(2) 広報啓発事業	印刷製本費 200,000円 通信運搬費 25,000円	リーフレット 10万部 郵送代 県内 100ヶ所
	小計 225,000円	
(3)		
	小計	
合計	320,100円	

※配分事業ごとに収支を記入し、欄が不足する場合は、適宜、記入欄を追加してください。
共同募金の配分を受けて行った全ての事業について、記載してください。

9 共同募金による配分事業であることのPR方法（該当する項目の□をチェックしてください。）

<input checked="" type="checkbox"/> 法人又は施設が発行する機関紙や会報
<input checked="" type="checkbox"/> 法人又は施設のホームページ等
<input type="checkbox"/> その他（内容： _____）

※PRにあたっては、共同募金の交付を受けて開催した行事や購入した機器備品・自動車が、利用者等に役立っている様子を具体的にお知らせしてください。

10 共同募金への協力方法（該当する項目の□をチェックしてください。）

<input checked="" type="checkbox"/> 街頭募金に参加する。	<input type="checkbox"/> 職員等を対象に寄附を募る。
<input checked="" type="checkbox"/> 施設内に募金箱を設置する。	<input type="checkbox"/> 赤い羽根自動販売機を設置する。
<input checked="" type="checkbox"/> イベント開催時に募金箱を設置する。	<input type="checkbox"/> その他（ _____）

11 添付書類（添付した書類には下表の確認欄に○印を付け、この順序で綴ってください。）

確認	書類名	注
	定款又は寄付行為の写し、法人認可書の写し、登記簿謄本の写し	※1
○	役員名簿	
H30	令和元（2019）年度決算報告書（収支計算書、貸借対照表、財産目録）	※2
H30	令和元（2019）年度事業報告書	※2
○	令和2（2020）年度事業計画書	※3
○	令和2（2020）年度収支予算書	※3
○	機関誌・広報誌等	
○	見積書	※4
○	カタログ	※4

※1 共同募金の配分申請を初めて行う法人又は定款もしくは寄付行為の一部に変更があった法人に限り、添付してください。

※2 令和元（2019）年度の決算報告書及び事業報告書について、申請書に添付できない場合には、平成30年度の決算報告書及び事業報告書を添付し、後日、評議員会等の承認を得た後、速やかに提出をしてください。

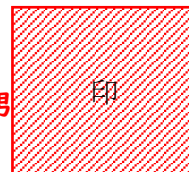
※3 令和2（2020）年4月を含む年度の収支予算書及び事業計画書を添付してください。

※4 臨時的経費として機器備品又は自動車の整備事業の申請をする場合には、見積書及びカタログを添付してください。

社会福祉法人栃木県共同募金会

会長 田崎昌芳 様

(代表者職氏名) 理事長 赤井 羽根男



受配者として決定されたときは、申請の内容を忠実に履行し、次の受配条件を遵守することを誓います。

1 使途の指定

配分金は、配分決定通知書に指定された使途以外に使用しません。

2 事業完了の期限

配分を受けて行う事業は、配分決定通知書に指定された使途年度までに完了します。

3 計画の変更

特別の事情により、上記1及び2によりがたい場合には、予め計画変更願いを提出し、その承認について協議します。

4 報告及び監査等

配分金について、貴会が調査を必要とした場合は、遅延なく必要な書類を提出し、又は監査等に応じます。

5 使途の明示

配分金を受けて行う事業については、共同募金の配分を受けたものであることを地域住民に明示する方法を講じます。

6 取得物件の処分

配分を受けて取得した物件をその取得後5年以内に処分するときは、貴会にその承認を求めます。

7 配分金の減額及び返還等

次の各号の一に該当する場合は、配分金の決定の取消し若しくは配分金の減額をされても異存なく、又はその返還に応じます。

(1) 配分の対象となった事業を実施しなかったとき

(2) 配分の対象となった事業を他の財源で実施したとき

(3) 貴会との協議及び貴会の承認を受けずに、配分の対象となった事業計画を変更して事業を実施したとき

(4) 配分の対象となった事業と異なる事業に配分金を流用したとき

(5) その他配分金交付の条件に不履行があったとき